

東山魁夷 《朝明けの潮 色分け大下図》 報道公開のお知らせ

- 皇居宮殿に設置された壁画《朝明けの潮》（縦約 3.8m、横約 14.3m）の原寸大の大下図
- 約 2 年をかけて修復・額装整備を実施
- 東山魁夷館 開館 35 周年を記念して来年（2025 年）秋に一般公開予定

日時：2024 年 11 月 28 日（木） 13：00～

場所：長野県立美術館 展示室 1（本館 1 階）



東山魁夷《朝明けの潮 色分け大下図》1967（昭和 42）年 紙本彩色 額装前の画像

長野県立美術館では、このたび東山魁夷館で所蔵する壁画下図《朝明けの潮 色分け大下図》を公開すべく額装整備いたしました。本作品は、皇居宮殿に設置された壁画《朝明けの潮》の原寸大の大下図です。この完成壁画は一般には公開されておらず、海外の要人など限られた人々しか見ることのできないエリアにあるため、当館の原寸下図を除いては、一般の人々が作品の大きさと感動を体感することができません。

東山魁夷館は、戦後を代表する日本画家・東山魁夷本人による作品・資料類の寄贈を母体に、1990 年に開館しました。寄贈作品のうちの多数を占めるスケッチや下図など、制作を支える数多くの準備作を公開してきましたが、画業中の代表作でもある 3 つの障壁画については、制作の最終段階である大下図を所蔵していたものの、展示するための額装整備が進んでおらず、その大きさからこれまでほとんど公開できずにおりました。とりわけ《朝明けの潮 色分け大下図》は、縦約 4 メートル、横に繋げると幅約 15 メートルにもなる大作です。今回の額装により、広く多くの方々にご覧いただけるようになりました。

2025 年は東山魁夷館が開館してから 35 周年を迎えます。これを記念し、東山魁夷の代表作である《朝明けの潮》の原寸下図である本作を、約 2 年かけて額装整備を進めて参りました。一般公開は来年度開催の企画展を予定しておりますが、今回は来年度の展示の準備のための仮展示と撮影を行うのに合わせ、報道機関の方々に公開いたします。この機会にぜひ御取材ください。

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp

※当日の取材を希望される場合は、P3「取材申込書」にてお申込み下さい。

▶ 東山魁夷《朝明けの潮 色分け大下図》について

東山魁夷《朝明けの潮 色分け大下図》 1967年 紙本彩色 全6面

- ▶▶ 《朝明けの潮》は皇居宮殿の長和殿、南溜りの階段を上った正面に掲げられる壁画で、1968年4月の完成から半世紀以上にわたり海外の要人など、日本を訪れる賓客を迎えてきた。東山の画業の中でも代表的な作品の1つであるが、一般公開はされておらず、皇居以外で原寸の作品を鑑賞することができるのは当館所蔵の《朝明けの潮 色分け大下図》のみであった。東山魁夷のスケッチや下図を多く所蔵し、公開に努めてきた当館も、こうした大型作品の下図の活用は進んでいなかったが、この度文化庁の助成を受けて額装し、一般への公開が可能な形となった。
- ▶▶ 当館所蔵の下図は原寸下図で、縦約3.9m、横約2.4mの6面からなり、横につなげると約15mにもなる巨大な作品である。東山は千葉県の市川市にアトリエを構えていたが、自宅の画室では大きすぎて制作が不可能なため、自宅の庭に仮設のアトリエを建て、特注のリフトを使って制作したことが知られている。
- ▶▶ 東山はこの作品の制作のため、他の仕事を一切断り1966年1月から1年間を各地の海岸への取材旅行にあてた。この取材で得られたスケッチ類は完成後の1968年11月に東京の松屋銀座で開催した展覧会で、同時期に制作が進められた京都の風景を描いたシリーズ「京洛四季」の作品と共に公開され、当館所蔵のこの下図も同展覧会で公開された。《朝明けの潮》は欧州の風景なども描いていた東山が、日本の風景美に回帰する時期とも重なり、画業の転換点としても注目される。

▶ 修復の概要・理由

- ▶▶ 本下図は、超大型作品のため額装しても保管場所や展示場所がなく、長らく巻いた状態で保管され、作品の保管状況としても好ましくない状況が続いていた。2021年に当館は本館を全面改築し、大型作品の展示が可能な吹抜けの展示室を設置した。収蔵環境も広くなり額装後の収蔵も可能になったため、文化庁の助成金を得たタイミングで修復と額装を行うことになった。
- ▶▶ 長らく巻いた状態で保管されてきたため、本紙に強い反りが見られ、また絵具の剥落なども進み始めていた。修復により剥落が心配される場所の補修を行い、裏打ちによって紙面の強度を上げた状態で額装した。
- ▶▶ 当館所蔵の東山魁夷の下図活用の一環として、展示への活用も期待できるため開館35周年を記念して額装整備を行った。

▶ 東山魁夷館 開館 35 周年について

東山魁夷館は 1990 年 4 月に、画家本人からの作品、スケッチ、下図、および図書などの資料類の寄贈をもとに、長野県信濃美術館（現：長野県立美術館）に併設する形で開館した。2025 年は開館から 35 周年を迎える。これを記念し、東山魁夷館 35 周年記念企画展を 2025 年の秋に開催し、今回額装整備した《朝明けの潮 色分け大下図》について公開する予定となっている。企画展では《朝明けの潮》の制作に関連する下図、スケッチなども展示し、作品の制作に迫る。また、東山魁夷が描いた日本の風景をテーマに、国民的画家と言われた東山魁夷が描いた風景の数々をご覧いただく予定である。



東山魁夷館 外観



東山魁夷（撮影：寺島照夫）

■ 取材申込書

※当日の取材を希望される場合は、下欄にご記入の上、11月25日（月）17時までに FAX 又はメールにてお申込み下さい。（折り返し当日の受付場所等についてメールにてお知らせいたします。）

貴社名	
所属/貴媒体名	
お名前	(同伴者 名)
撮影	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> ムービー: 名 <input type="checkbox"/> スチール: 名 <input type="checkbox"/> 希望しない
TEL/FAX	TEL: FAX:
E-mail	@

申込先

◎FAX：026-232-0050（長野県立美術館 広報・マーケティング室行き）

◎Eメール：nam-pr@naganobunka.or.jp（件名「朝明けの潮 取材申込み」）